

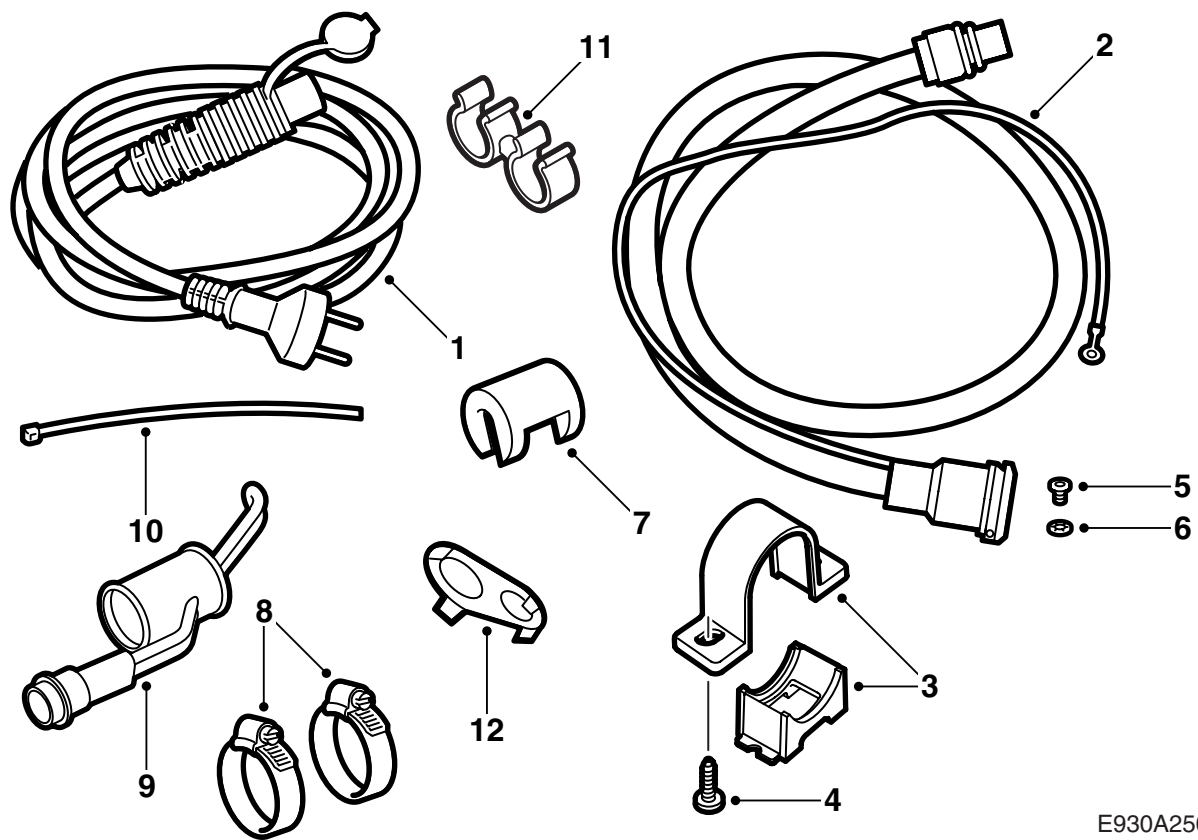


MONTERINGSANVISNING · INSTALLATION INSTRUCTIONS
MONTAGEANLEITUNG · INSTRUCTIONS DE MONTAGE

Saab 9-5 B308

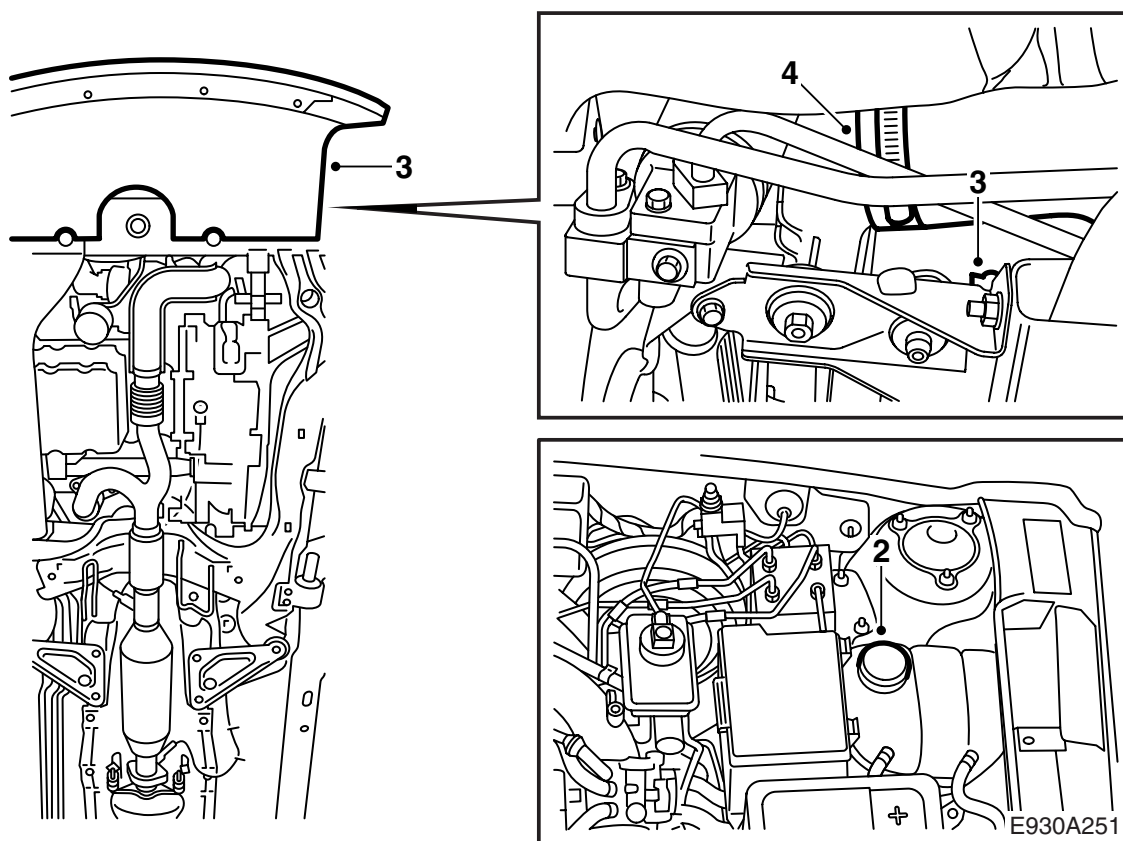
パーキングヒーター

Accessories Part No.	Group	Date	Instruction Part No.	Replaces
400 130 613	9:87-32	Jul 01	53 29 289	53 29 289 Jun 01



E930A250

- 1 接続ケーブル
- 2 インテークケーブル付きインテークコンタクト
- 3 ホルダー
- 4 ネジ (x2)
- 5 ネジ
- 6 スターワッシャー
- 7 クリップ
- 8 ホースクランプ (x2)
- 9 ヒーターエレメント
- 10 ケーブルタイ (x5)
- 11 ダブルクリップ
- 12 ワッシャー (x3)



- 1 取り付け説明書全体に目を通し、全ての部品がキットに入っているか確認する。

注記

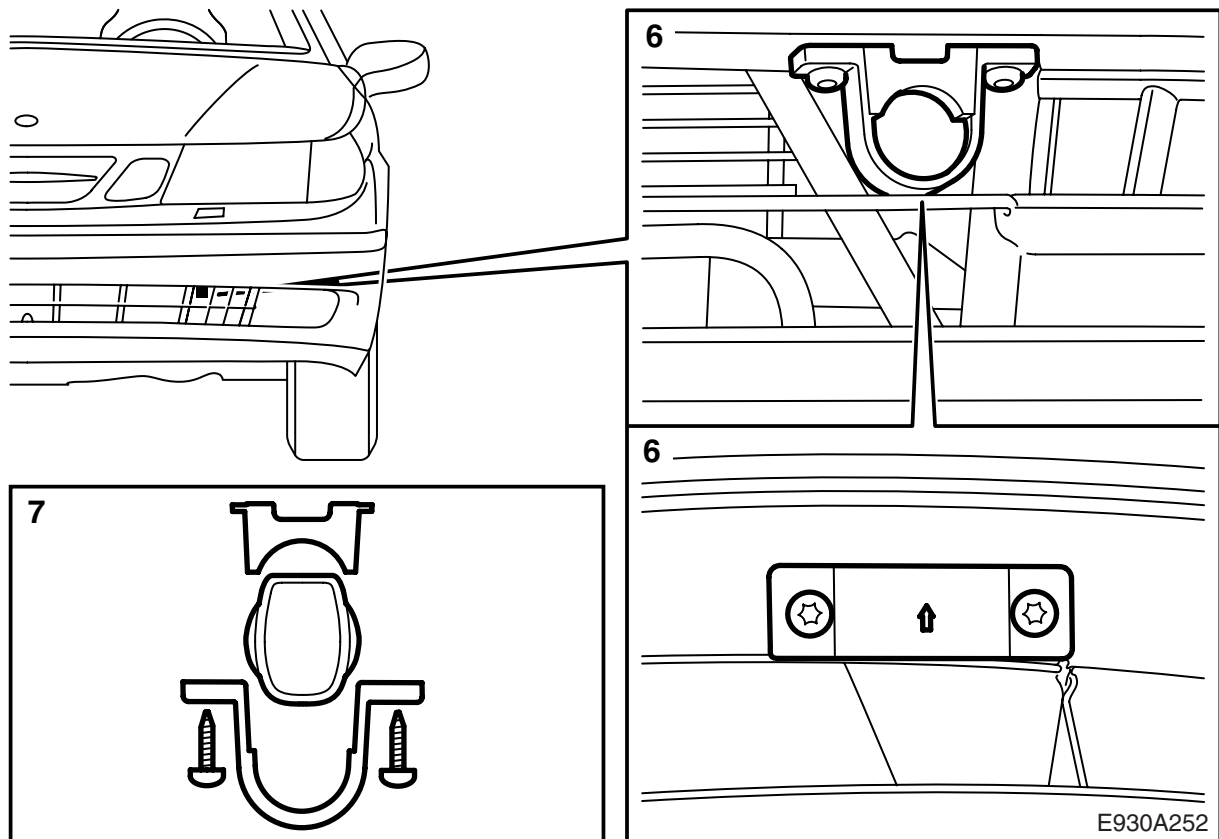
車両に Audio System 以外のラジオが装備されている場合は、ラジオコードを確認し書き留めておく。

- 2 フェンダーに保護カバーをかけ、冷却システムのエキスパンションタンクのキャップを取る。

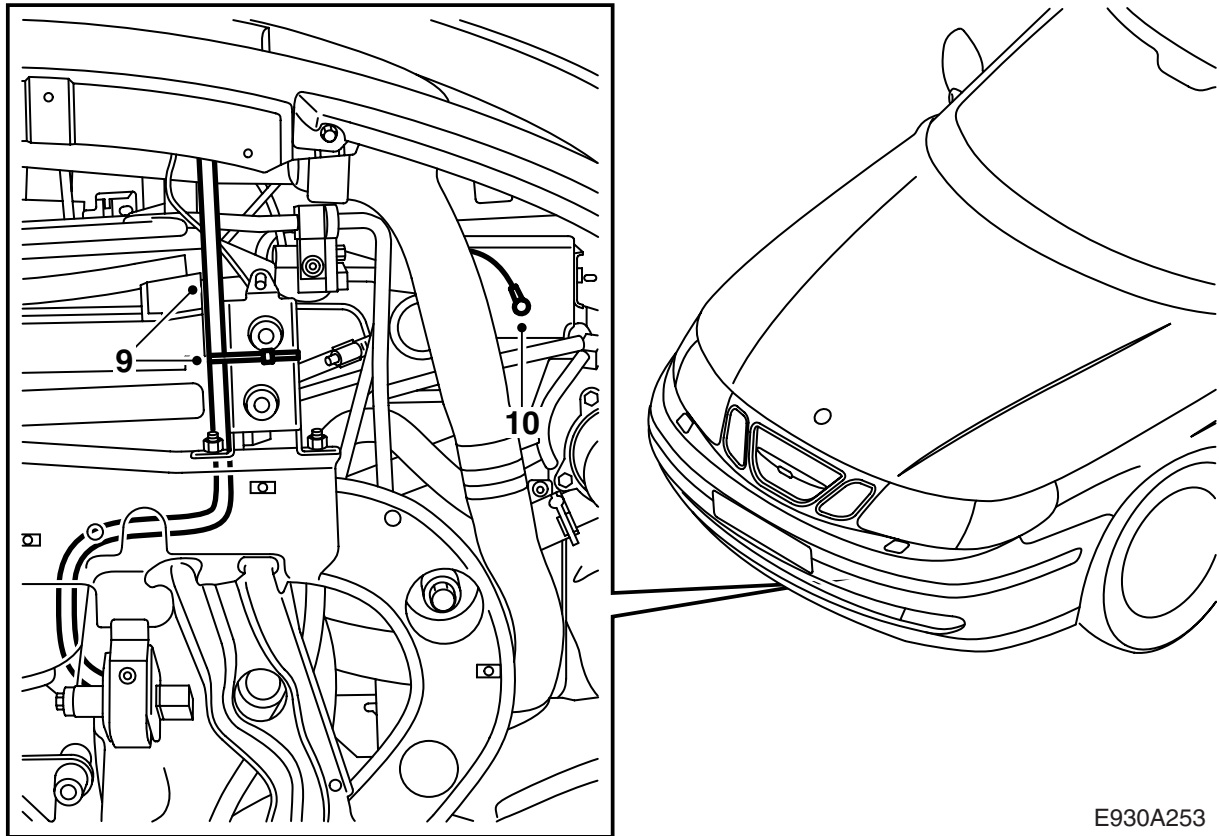
⚠ 警告

車のエンジンが熱い場合、十分に注意すること。冷却液は非常に高温である。エグゾーストマニフールドでやけどをする恐れもあるので注意する。

- 3 車両を上げる。冷却液を受ける容器を用意する。バンパーの背後にあるエアシールドを取り外す。ホースを接続して、ドレーンプラグをあけ、冷却液を排出する。
- 4 ターボ圧パイプへのホースクランプをチャージエアクーラーから外す。ホースクランプをチャージエアクーラーにぶら下げたままにしておく。

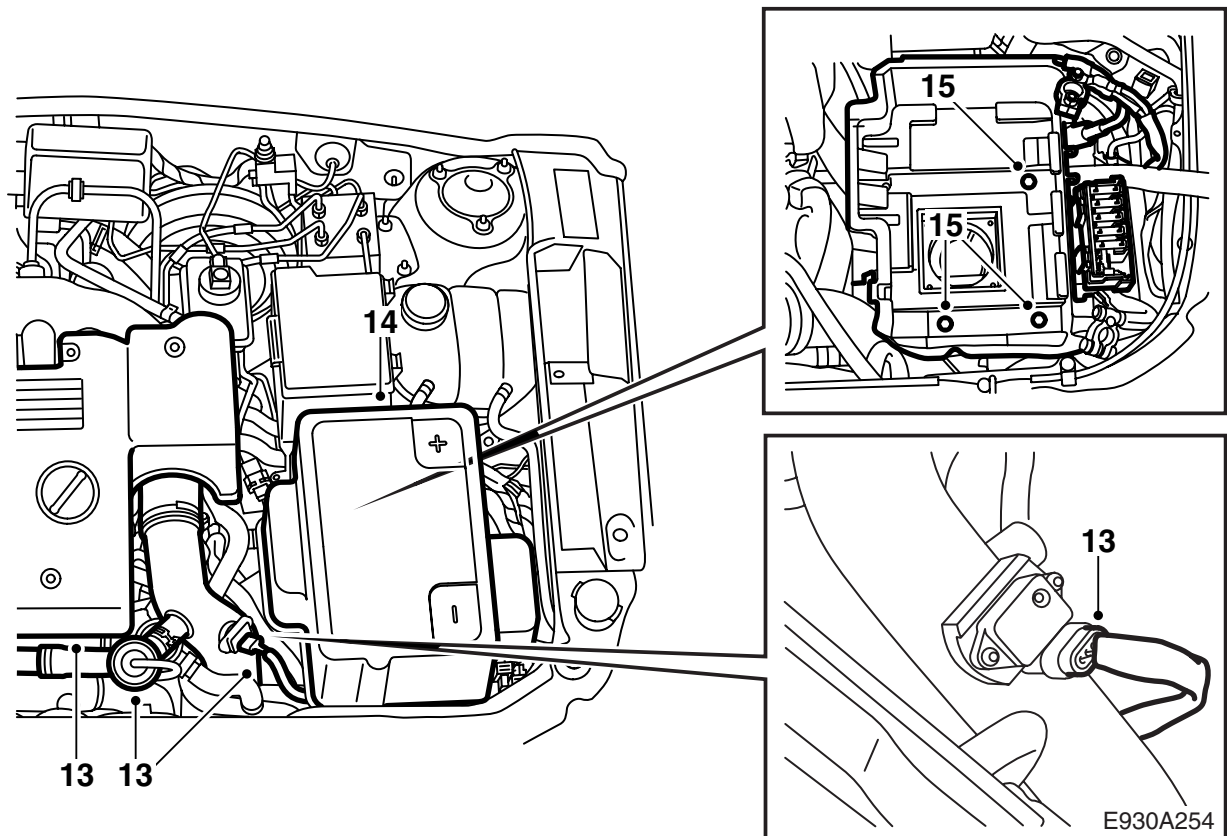


- 5 バンパーシェルにインテークコンタクトを取り付けるのに適切な高さまで車両を下げる。
- 6 インテークコンタクト用ホルダーの位置をマークする。ホルダー上の矢印が前向きになっていること。錐で穴を開ける。
- 7 インテークコンタクトをホルダーに配置する。ふたが上向きに開くようにする。ホルダーをバンパーに取り付ける。
- 8 車両を上げ、排水プラグを締める。



E930A253

- 9 ラジエーターとサポートフレーム間に、インテークケーブルを引き入れる。図のようにインテークケーブルの接続部をギアボックス上に配置し、固定する。
- 10 3.5 mm のドリルビットで、左側構造フレームの下にアースケーブル用の穴を一つ開ける。
- 11 良好なアースのために塗装をこすり取り、アースケーブルをネジとスターワッシャーで締め付ける（スターワッシャーは、アースケーブルのケーブルターミナルと車体間に配置する）。防錆剤（部品番号 30 15 971）を薄くスプレーする。アースケーブルをインテークケーブルに沿って固定する。
- 12 エアシールドを取り付け、車両を下げる。

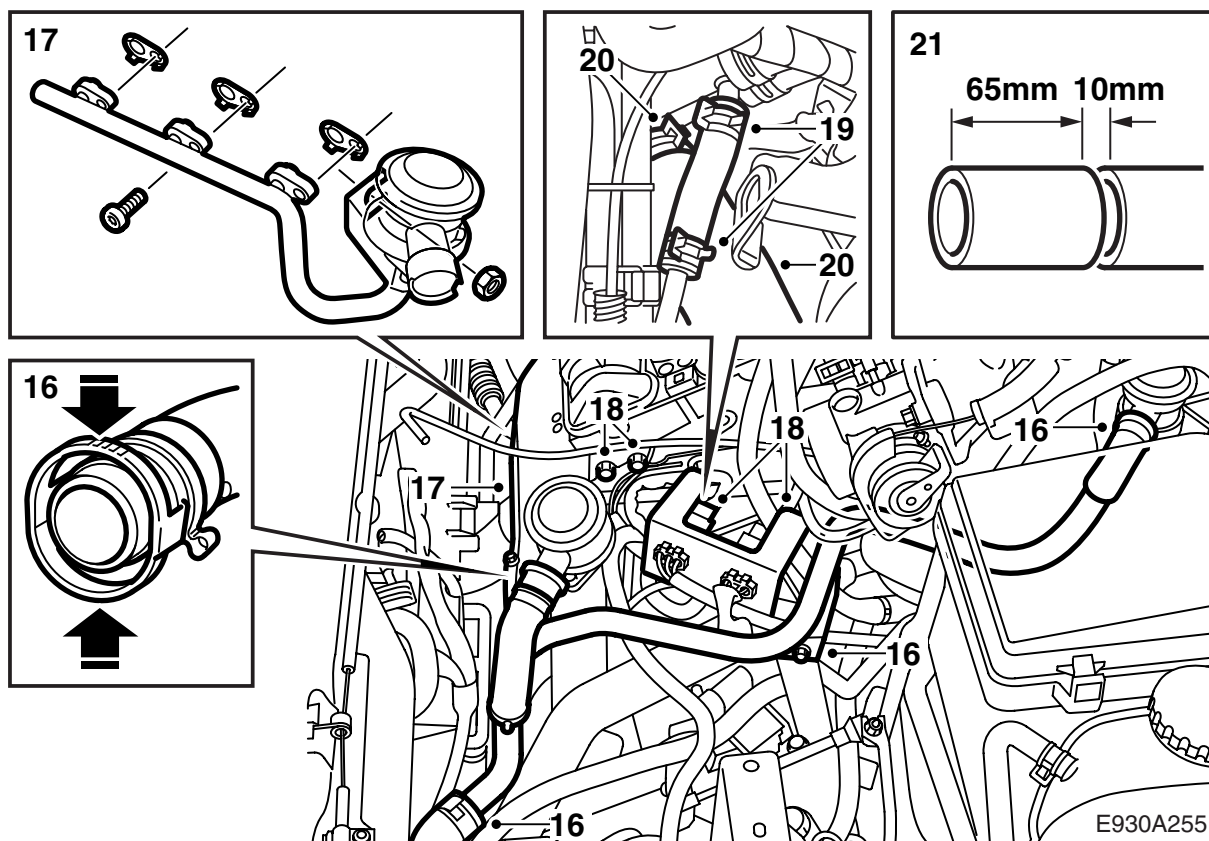


13 エンジンカバーとバルブ付きのバイパスパイプを外す。ターボのインレットパイプの引入口を密栓する。

温度 / 圧力センサーへのコネクタを外し、ターボ圧パイプを取り外す。

14 バッテリーカバーを取り外し、バッテリーケーブルと通気ホースを外し、バッテリーを取り外す。

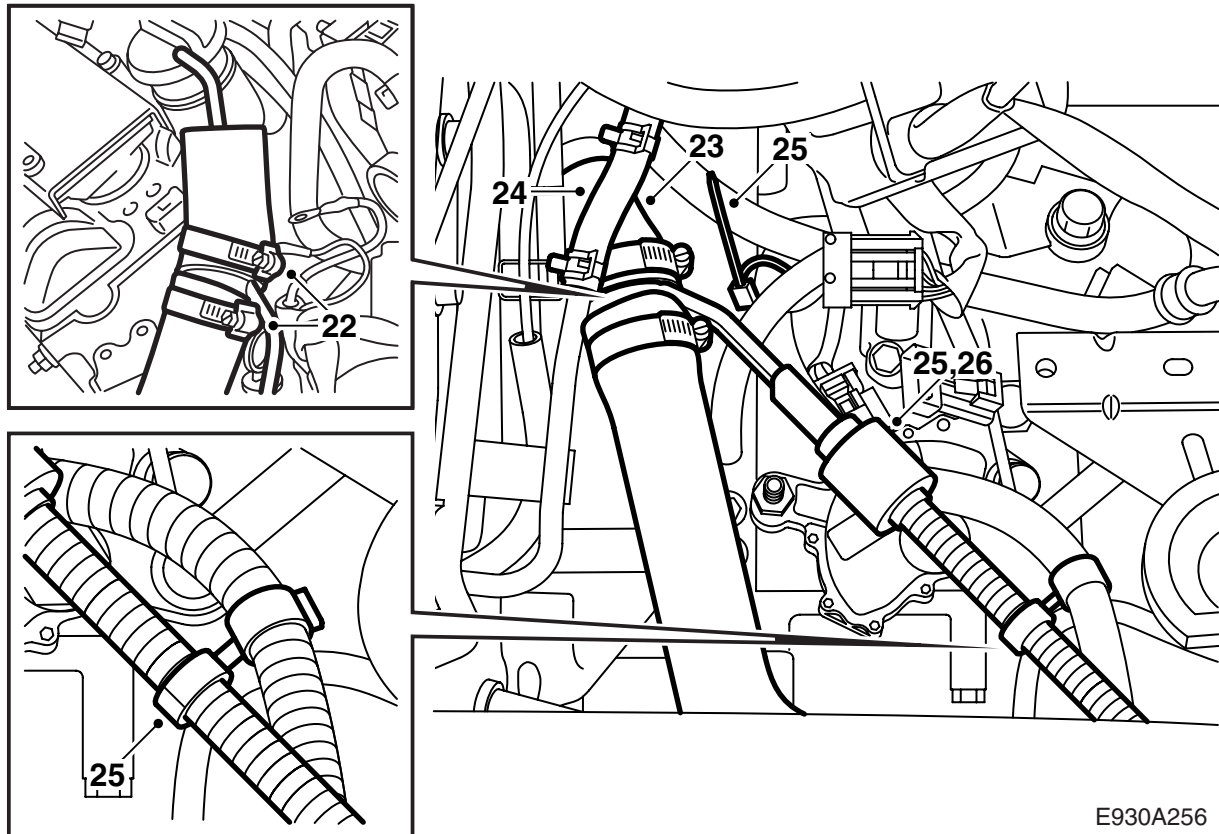
15 バッテリートレイを取り外す。



- 16 バルブとインレットホースからエア噴射パイプを取り外し、ブラケットとエア噴射パイプを取り外す。
- 17 ヒートシールド、パイプ付きバルブを取り外す。

重要事項

- 3 個のガスケットを廃棄する。パイプが取り外された際には、ガスケットを**必ず**交換すること。
- 18 ワイヤハーネス付きのブラケットをエンジンとギアボックスから外し、シリンダーヘッド上のアースを外す。ブラケットを曲げて邪魔にならないようにする。
- 19 ターボの中継ぎホースを、冷却液パイプから取り外す。
- 20 冷却液ホースをパイプ端から外す。
- 21 テープ、あるいは類似品で冷却液ホース（冷却液インレットからエンジン方向に 65 mm の位置）に印を付け、切り取る。図を参照して 10 mm 切り取る。

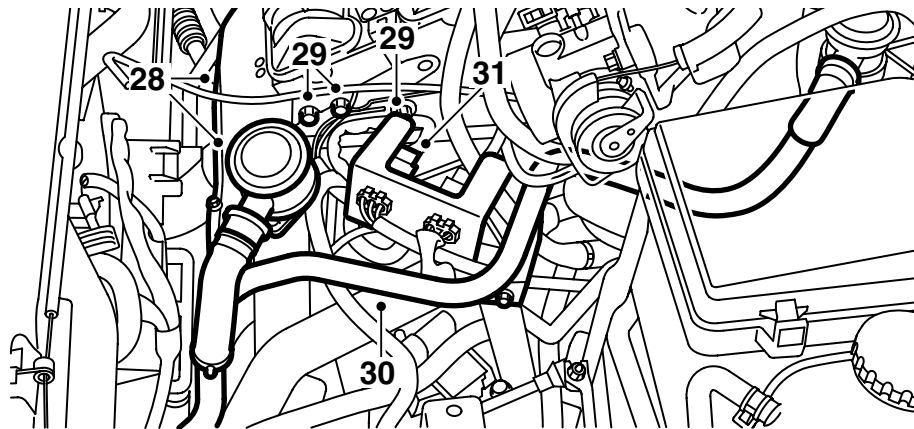
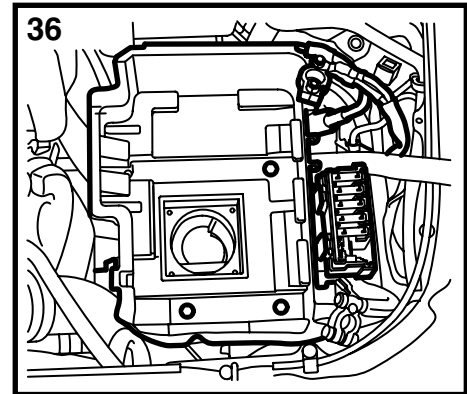
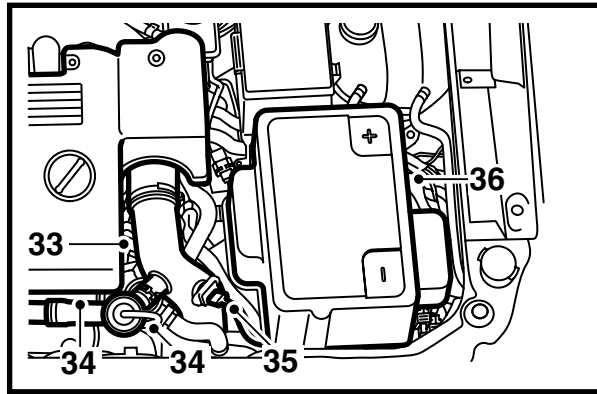


E930A256

- 22 ヒーターエレメントを、2 個のホースクランプでホースに取り付ける。ヒーターエレメントのホース上の位置を点検し、他のパーツに触れていないことを確認する。あとで調整ができるようにホースクランプを配置する。
- 23 冷却液のホースをパイプ端に取り付ける。
- 24 中継ぎホースを、ターボへの冷却液パイプ上に取り付ける。
- 25 インテークケーブルを前方に引き、非酸性ワセリンを O リングに塗布する。インテークケーブルをヒーターエレメントに接続する。インテークケーブルをダブルクリップでギアボックスケーブルに、そしてケーブルタイで左側構造フレームに固定する。
- 26 ロッククリップを接続部上に取り付ける。ロッククリップが正しく取り付けられると、カチッという音がする。

 **警告**

ケーブルが可動パーツ、鋭い面、あるいは、熱い表面に触れていないことを確認する。ケーブルをケーブルタイで固定する。



E930A257

- 27 ブラケットを元に戻す。
28 パイプ付きのバルブを取り付ける。

重要事項

パイプ付きのバルブが取り外された時は、必ず新しいガスケットを取り付けること。

ヒートシールドを取り付ける。

- 29 ワイヤハーネス付きのブラケットを取り付ける。アースケーブルをネジ留めする。
30 各バルブのエアインジェクションパイプ、取付具、フィードホースを取り付ける。

重要事項

パイプが確実にバルブに接続されていることを確認する。図を参照。

- 31 コネクターをクランクケースベンチレーションパイプにあるブラケットに取り付け、接続する。
32 ソケットのアース端子、ヒーターエレメントのケース、および車体間のアース状態を点検する。
33 ターボ圧パイプを引き下げ、チャージエアクーラーとスロットルボディに接続する。車両を上げ、パイプが完全に接続されていることを確認する。チャージエアクーラーとターボ圧パイプ上のホースクランプを締め付ける。車両を下げる。
34 プラグを外し、バルブ付きのバイパスパイプを取り付ける。エンジンカバーを取り付ける。
35 ターボ圧パイプ上の温度 / 圧力センサーへのコネクターを接続する。

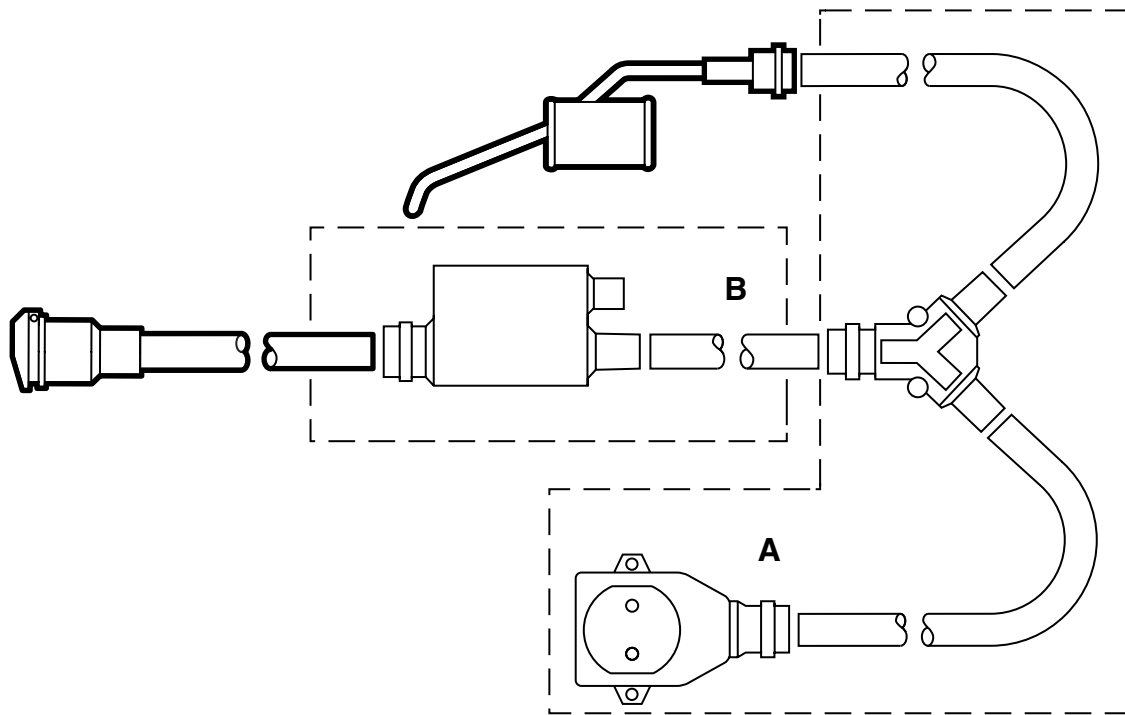
- 36 バッテリートレイとバッテリーを取り付ける。バッテリーを接続し、バッテリーカバーを元に戻す。
37 冷却液を補充し、システムの漏れを点検する。
38 冷却システムの脱気を下記のように行う：

注記

AC/ACC が OFF の状態にあること。

冷却システムを MAX レベルまで補充する。エキスパンションタンクのキャップを閉める。エンジンをかけ、冷却ファンが始動するまで回転速度を変えて、暖機回転させる。エキスパンションタンクのキャップを注意して開け、MAX レベルまで再び補充し、キャップを閉める。冷却ファンがさらに 3 回始動するまで回転速度を変えて、エンジンを回転させる。エンジンを停止し、必要に応じて再び MAX レベルまで補充する。ヒーターの機能をチェックする。

- 39 時計（日付を含む）をセットし、ラジオコードがあれば入力する。
40 取り付け説明書を車内に置き、顧客に対して利用の手引きについて説明する。



E930A082

- A 分岐ケーブルキット
- B タイマーキット

利用の手引き

- 接続ケーブルは、耐油性の屋外使用許可、最低面積 $3 \times 1.5 \text{ mm}^2$ のゴムケーブルであること。
- パークヒーターは、アースされたソケットにのみ接続すること。
- ケーブル類は注意して取り扱うこと。特にボンネットと車体間に挟まったり、鋭いプレート部で損傷する恐れがあるので気を付ける。



警告

インターコンタクトのアース端子、ヒーターカバーと車体間のアース状態を定期的に点検すること。

- アースケーブルの損傷や老朽状態を定期的に点検する。損傷したケーブルは直ちに交換すること。

注記

下記の場合、ヒーターの機能が劣化する恐れがある：

- 冷却液が汚れている場合
- 冷却液レベルが不十分であるか、システムに空気が入っている場合
- システムにみぞれ状態の氷がある場合
- ラジエーターセメントが使用されている場合